

# 月刊 社会保険 11

2019 VOL.832

一般社団法人  
全国社会保険協会連合会

厚生労働大臣、厚生労働副大臣および厚生労働大臣政務官 就任  
全世代型社会保障検討会議の開催について  
年金記録や年金見込額を「ねんきんネット」で確認できます!!

日本年金機構からのお知らせ  
「令和2年分公的年金等の受給者の扶養親族等申告書」の送付について

協会けんぽからのお知らせ  
署名・押印の取扱いが変更となりました。  
任意継続健康保険の保険証発行の取扱いについて

協会けんぽ(医療分)の平成30年度決算を足元とした収支見通し(令和1年9月試算)について  
「働き方の多様化を踏まえた社会保険の対応に関する懇談会」における議論のとりまとめ(概要)



厚生労働大臣、厚生労働副大臣および厚生労働大臣政務官 就任	4
全世代型社会保障検討会議の開催について	5
年金記録や年金見込額を「ねんきんネット」で確認できます!!	6
<b>日本年金機構からのお知らせ</b> 「令和2年分公的年金等の受給者の扶養親族等申告書」の送付について	10
<b>協会けんぽからのお知らせ</b> 署名・押印の取扱いが変更となりました。 任意継続健康保険の保険証発行の取扱いについて	12
協会けんぽ(医療分)の平成30年度決算を足元とした収支見通し(令和1年9月試算)について	14
「働き方の多様化を踏まえた社会保険の対応に関する懇談会」における議論のとりまとめ(概要)	18
<b>社会保険・労働保険の手続きと届出様式</b> 第7回 健康保険の被扶養者(異動)届と国民年金の第3号被保険者関係届 監修/社会保険労務士法人SKMオフィス	20
<b>年金・健康保険委員活動報告</b> 社会保険委員として 西海陶器株式会社取締役常務 小林 善輝	22
<b>書評</b> 小熊 英二著『日本社会のしくみ—雇用・教育・福祉の歴史社会学』	24
<b>持続可能な社会の扉を開けた人たち</b> 第9回(前編) アール・ブリュットは美術界に刺激を与え、福祉に新しい風を起こした。 社会福祉法人グロー(GLOW)理事長 北岡 賢剛 株式会社朝日エル会長 岡山 慶子	25
<b>日本とは異なるイタリアの高齢者事情</b> 第7回 パカンスに出かける高齢者たち イタリア在住ジャーナリスト 西ヶ久保 徹郎	28
<b>認知症を予防する②</b> 第7回 遺伝/環境要因/肥満/運動 お茶の水健康長寿クリニック院長 白澤 卓二	30
<b>社会保険Q&amp;Aシリーズ</b> 健康保険編 32/年金保険編 34/介護保険編 36/労働保険編 38 特定社会保険労務士 鈴木 ひろみ	

表紙写真・竹内敏信/イラストレーション・水森亜土、/デザイン・STデザイン、(有)フェイム/編集協力・(株)アップルハウス/印刷・(株)エイエヌオフセット

表紙のことば——竹内敏信 「光の響」「水の風景」

長野県松本市(旧奈川村)



秋に色づいた葉は、この時期になるとひらひらと落ちていく。秋惜しむ季節である。  
日本列島は、近年の猛暑で亜熱帯気候へと変わりつつある。気候の変化は、日本の四季にも影響があるのではないだろうか。  
暑い夏がつづく、葉は色づく前に枯れてしまう。美しく紅葉した木々の葉を見ることは、この先珍しくなるかもしれない。それはとても寂しいことである。  
しかし、これも人々が及ぼした罪の証なのではないだろうか。環境問題に今まで以上に目を向け、日本列島の自然の豊かさをわれわれは大切に守っていききたいものである。

◎ 本誌制作にあたっては、国等からの補助金等を一切受けておりません。



## 社会保険委員として



西海陶器株式会社取締役常務  
小林 善輝

●はじめに  
社会保険委員として活動をはじめ、30年が経ちました。20代の後半で委員活動に参加させてもらい、多くの経験と出会いを賜りました。私が所属している諫早支部は、長崎県の中央部に位置し5市3町からなっています。

記憶に残るできごととしては、平成3(1991)年に起きた雲仙普賢岳の噴火です。火砕流や土石流による大きな被害で避難勧告が出され、立入禁止地区が出たことで、当時の社会保険事務所では保険証の再発行や医療機関の対応など大変な思いをされたこと、多くの事業所が被害に遭い、大変な中で全国より励ましや支援をいただき復興できたことが思い出されます。

平成21(2009)年に社会保険庁が解体されましたが、社会保険委員会の存続に向けて県内4つの委員会が協議を重ね、現在の長崎県社会保険委員会として活動をはじめました。平成が終わり令和の時代に変わりましたが、思い出深い平成時代を社会保険委員として過ごしてきました。

●長崎県社会保険委員会諫早支部について  
長崎県社会保険委員会は現在1188人の会員数で、諫早支部は343名の会員で成り立っています。

諫早市を中心に大村市、島原市、南島原市、雲仙市、東彼杵町、川棚町、波佐見町の5市3町からなり、長崎県内4支部の中でも広域にわたっており、活動自体も島原地区、諫早地区、大村地区、東彼杵地区に分かれて活動を行っています。

特に、諫早年金事務所と連携した委員研修会の実施や年金セミナーへの参加、健康づくり事業の推進などを行っています。

### ●会社の紹介

私が勤務する西海陶器株式会社は、昭和21(1946)年5月1日創業で、陶磁器の卸販売を行っています。当社が位置する波佐見町は、40

0年の歴史を持つ焼きものの生産のまちです。

唐津や伊万里、有田、三河内焼などでも知られる肥前窯業を形成する地域です。波佐見焼はつい最近までは有田焼として流通していて、波佐見焼の知名度はありませんでしたが、波佐見焼の知名度向上のために産地

を挙げて取り組み、近年は波佐見焼を知る人も若い世代を中心に増えてきました。当社は現在ロサンゼルス、シンガポール、オランダ、大連に子会社を置き、海外に波佐見焼を中心に販売しています。

### ●社会保険委員としての活動 〇月〇日

協会けんぽの山本前支部長より連絡があり、健康経営宣言を会社として手を挙げてはとの話がありました。

生活習慣病予防健診の全社員受診と健診結果を踏まえて保健師の指導や産業医の面談等に取り組んでいること、ラジオ体操の実施、メンタルチェックなど活動が評価されて、全国健康保険協会長崎支部、長崎県により健康経営推進企業の認定を受けることができました。

### 〇月〇日

シニアライフセミナーへの参加者が少ないので、参加を呼びかける依頼の電話が委員会事務局よりあり、定年前の社員数名に出席してもらいました。

参加に前向きではありませんでしたが、セミナーから戻った社員から参加してよかった、シニアライフセ

ミナーにはもっと参加させるべきだとの話がありセミナーの必要性をあらためて感じました。

### 4月〇日

年度が替わり4月になると、長崎県社会保険委員会の役員会が開催されます。前年度の事業の報告と決算の状況にはじまり、新年度の事業の計画を話し合います。

今年度は、以前からの懸案事項でもあった会費の値上げについて審議しました。長崎県社会保険委員会を発足したときに、県内4委員会の会費が一番低い委員会にあわせて設定していたため、発足後10年が経ち活動予算に無理が出てきていました。今後の活動の充実を図ることとして値上げを決定しました。

また、シニアライフセミナーについて、参加者を増やす対策を協議しました。当委員会は、シニアライフセミナーを当初から積極的に進めてきた経過があり、近年特に定年後の生活設計について仕事と生きがいのライフワークバランスや老後の生活設計など、これから定年を迎える社員には必要な情報であり、委員会としても積極的に働きかける必要があることから各支部に協力・推進を求めました。

### ●おわりに

長年社会保険委員として携わってきました。委員に就任した当初は、委員会活動は異業種交流の場だからと、先輩の委員にいわれていました。いろいろな業種の委員と、同じ総務関係の仕事をしていて、同じ悩みや企業ごとにそれぞれ違う悩みがあるなど、仕事のうえで必要な経験をさせてもらいました。

社会保障制度が社会情勢にあわせて変化してきます。定年の延長により在職老齢年金の相談が増えてきました。健康管理においてもメンタルヘルスへの対応が必要になりました。職場内での受動喫煙の問題、最近では法律が先行して対応が後追いになっています。

政府では、新たな社会保障改革が検討されています。社会保険委員としての役割の重要性がさらに増すことと思います。現場の声をいかに伝えるかも委員としての使命だと思います。

企業と制度の橋渡し役はもとより、委員同士のつながりを大切に今後も委員活動をつづけていきたいと思えます。

(長崎県社会保険委員会副会長)



西海陶器株式会社